

# 水道あしすと（災害時支援協力員）の制度と活動報告

水道あしすと代表 能登 治美

## 災害時支援協力員制度

発 足；平成16年

登録人員；39名（平成28年12月現在）

愛 称；「水道あしすと」 ・水道水を ・あんてい（安定）して  
・しんさい（震災）時にも ・すばやく ・とど（届）ける

### 目 的（抜粋）

大阪府内に震度6弱以上の地震や大規模な漏水事故等が発生した際に、大阪広域水道企業団が管理する施設の被害状況の早期把握、応急給水体制の強化など災害発生初期の応急活動の充実に資するため、水道事業の経験と知識を有する者の支援協力を得る。

### 活動内容

- （1）地震発生時等における自宅から参集場所までの参集途上の導送配水管等水道施設に関する被害状況などの情報収集と報告
- （2）企業団が指定する拠点給水施設での応急活動の補助
- （3）前2項を円滑に実施するために行う企業団研修への参加

## 平成28年度活動報告

### ○平成28年度 水道あしすと研修会への参加

日時；平成28年12月7日（水）15：00 南部水道事業所にて

研修内容；近況報告（広域連携、主要事業の進捗状況）

机上研修（DIG参集訓練、参集情報伝達訓練の説明）

実技研修（応急給水仮設水槽設置等）

### ○水道あしすと参集伝達訓練

日時；平成28年12月14日（水）11：00

訓練目的；震災時（府内震度6弱以上）及び企業団からの要請時における情報の伝達と水道あしすとの安否を含む参集状況等の的確かつ迅速な把握。

実施方法；予め定めた「連絡体制表」「参集場所」「参集情報表」を用いて、参集情報の伝達訓練を実施。通信手段は携帯・固定電話。

### ○「出かける浄水場」説明スタッフへのボランティア協力

目 的 企業団では、小学4年生の過程で「水とくらし」について学習する機会に、出前授業を実施し、水づくりや水の大切さについて理解を深めるとともに「大阪のおいしい水（高度浄水処理水）」のPRを図っている、その事業のボランティア協力。

実施内容 ・浄水場で水道水ができるまでの工程、水の大切さなどの説明  
・水処理実験を体験（凝集沈殿、砂ろ過、粒状活性炭吸着）  
・水道水とミネラルウォーターの利き水

実施期間と学校数 28年6月上旬～9月上旬 府内（大阪市内除く）の20学校

○応急給水仮設水槽の設置作業



○実技研修を終えて



○「出かける浄水場」水处理実験（砂ろ過・粒状活性炭処理）のようす

※出展；大阪広域水道企業団 平成 28 年度「出かける浄水場」実施結果より



東大阪市立高井田西小学校



泉大津市立旭小学校